

樹海

Readers make leaders!

発行日：令和六年三月二十二日

發行者：北海道釧路北高등학교圖書部

降り積もった雪があつという間に溶け、春の陽気が訪れる今日この頃、ほかほか陽気の中でのんびり読書はいかがですか？

今月号は、図書委員オススメの本をご紹介します。少しでも良いなと思った本があったら、ぜひ手に取ってみてください。勉強の合間に、寝る前に、物語の世界に浸ってみませんか？

「突然頭が鋭くなる 42 の思考実験」



著：小川仁志 SBクリエイティブ株式会社

2018年発行

「思考実験」という言葉を聞いたことはありますか？
一体何を実験するのだろうか？何を準備すればいいのだろうか

そんなことを考える人もいるかもしれませんが、いえいえ、この実験に必要なものは一つだけ。考える、という一つだけです。試しに一つ、やってみませんか？有名な問題を一つ挙げれば「トロツク問題」です。知っている方が多いと思いますが説明すると、本来犠牲にならない人を犠牲にするところで、犠牲になるはずだった五人を助けることができる時、あなたはどうかする、という問題です。

あなたの考えはまとまりましたか？では、なぜそう考えましたか？「なぜ」を突き詰めていくと、今まで知らなかったあなたの考え方が分かってきます。答えは本の中です。ぜひ、手に取ってはいかがでしょうか？T.T.



「Nのために」

著：湊かなえ 双葉社 2014年発行



様々な登場人物の視点から話が進むので、物語の時系列が行ったり来たりしており、理解するのに時間はかかります。ですが、すべてが脳に落ちた瞬間、作り込まれた話の綿密さが登場人物のそれぞれの激情を表現していることに気が付くでしょう。

読み終わった後の「そうだったのか」という満足感と、重くずっしりとした何とも言い難い複雑な感情は、この作品を読んだ当時中学生だった私の心に今でも強く残り続けています。S.N.



「華氏451度」



著：レイ・ブラッドベリ　ハヤカワ文庫　1953年発行

読書や本の所持さえ禁止された世界で、本を焼く“昇火士”として働く主人公。テレビによる文化の破壊や愚民政策の様子を書かれている。

近未来な舞台設定で書かれているこの作品は現代のインターネットと私たちの関係性についても考えさせられることの多い作品となっています。K.T.

『アリス・ミラー城』殺人事件」

著：北山猛邦 講談社文庫 2008年発行



「鎖の国のアリス」の世界を思わせる支離滅裂な「アリス・ミッド・ウェンズ」そこにあるのは「アリス・ミッド・ウェンズ」を探すべき、探検したい場所を踏み入れる。・・・次々と殺されていく探検者たち。それと同時に滅びていくチェスの駒。ところ狭しと散らばり始められて、美しい物理理論の教、アリス・ミッド・ウェンズの「そして誰もいなくなった」の要素を文をながらも、作品の世界に無理なく溶け込み、世界観を引き立てています。一言一句をこらさないで犯人を見つけ出すことはできないでしょう。どうかあなたのため、真実を見つけてみてください。AT

「木曜日にはココアを」



著：青山美智子 宝島社文庫 2019年発行

木曜日には、川沿いの桜並木の下にぜひ喫茶店「マブル・カフェ」を
 を中心に12のストーリーが展開される心温まるやさしい物語。
 語……。川上の偶然が重なり合うことで進むこのお話は日常生活
 で偶然に起こる出会いや、ちょっとした出来事の大切さに気付か
 せてくれます。この本の作者さんは私たちの日常にありそう
 なちょっとした出来事を舞台としたお話をよく書かれていて、
 日常の舞台になっていることで読者の私たちも心おぼえの世界に入
 りやすくなっている。歩幅として人々の悩みと自分自身が悩

えている悩みが同じだと、物語の中でそれらを解決してくれるなんていう事があるので、「木曜日にはココア」は特におすすめの一冊ですが他の本もとてもおもしろいので、ぜひ読んでみてください。M.Y

「つめたいよるに」

著：江國香織 新潮文庫 1993 年発行



21 編で収録した短編集。ここでは、2001 年のセクター・試験の物語の2題の題材にもなった、「テューク」を紹介する。ある女性が愛犬を失い悲しんでいるところから物語が始まる。テュークをなくしたことに悲しんでいる暇もなく、バイトに行かなければならない彼女と近きまが電車に乗った。そんな彼女に席を譲ってくれた少年がいた。彼の機嫌いすくめられて、女性は10の間に泣き止んだ。少年は混雑の電車の難からさげな女性を介抱してあげていた。女性は、気づいて感謝し少年にコービーをもらってさそえていった。バイトの気分がよくなったのか、その流れでバイトを休み、その日は少年と一緒に過ごした。その中で彼女は、少年とテュークの共通点をいくつか見つける。そして別れる。少年は女性にキスをした。それからテュークを失くしていた。彼女にそに立ち止った。誰は多いがここにくっつくような感覚も感じる。そして、切なくも温かい。そんな不思議な感覚になってみたい方はぜひ「テューク」読んでみてください。

新着図書リスト

遅くなりましたが、新着図書です。面白そうな本、入っています。
春休み中でも借りたい人は、図書の先生に声をかけてみてください。

音楽を深める 人間の「心」をつかり方	森田和子 著	5-00201-3
NHK 建邦の神楽 春だけのおくぐりガイド	関根孝・中村久（監修）松本浩一 著	5-119-118
音楽性の等しとしない	佐々木康子 著	5-119-163
美しくとくさいが世界の端のほうは	関根孝 著	1-41-128
「賢人」と「わくわく」 知性は組みとその可能性	関根孝 著	5-147-177
狂徒草とは何か 井上村円讀	江口淳子（監修）松本浩一 著	5-147-171
森田先生、病弱へ行く	関根孝 著	4-08-138
森田先生、再び病弱へ行く	関根孝 著	4-08-139
ひとり暮らしで知りたかったのが全部のってる本	水谷明子 著	5-00-131
全 201 万国地図帳でお作りできる世界のあつち	水谷明子 著	5-00-139
広告の杜に 広告と社会、希望について	山田孝太郎 著	5-07-64-31
死ぬまでに親に行ききたい親の有名な書 1 冊でめぐる旅	山田孝太郎 著	7-20-119

新着図書リスト

[illegible]